

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成21年11月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成21年10月分(平成21年9月28日～11月1日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	6,371	11.16	0.01	↑	10	百日咳	33	0.09	0.03	→
2	RSウイルス感染症	164	0.46	0.14	↗	11	ヘルパンギーナ	104	0.29	0.12	↓
3	咽頭結膜熱	55	0.15	0.28	↗	12	流行性耳下腺炎	273	0.77	0.73	↗
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	271	0.76	0.64	↑	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.00	
5	感染性胃腸炎	864	2.43	4.26	→	14	流行性角結膜炎	147	1.55	0.95	↘
6	水痘	229	0.64	0.56	↑	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	128	0.36	0.17	↗	16	無菌性髄膜炎	4	0.04	0.07	
8	伝染性紅斑	9	0.03	0.11		17	マイコプラズマ肺炎	9	0.09	0.31	
9	突発性発しん	182	0.51	0.56	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成21年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	70	3.04	2.18	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	125	5.95	5.46	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.61	0.87	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	30	1.43	1.66	→
21	尖圭コンジローマ	17	0.74	0.50	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.35	
22	淋菌感染症	38	1.65	0.95	↗						

「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)
報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

急増疾患 インフルエンザ(697件 6,371件)
急増疾患 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
(128件 271件)
急増疾患 水痘(103件 229件)
急減疾患 ヘルパンギーナ(320件 104件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	54	結核(54)[広島市保健所(16),福山市保健所(12),呉市保健所(3),西部保健所(10),西部東保健所(4),東部保健所(6),北部保健所(3)]
三類	9	腸管出血性大腸菌感染症(9) O26(4)[福山市保健所], O157(4)[広島市保健所(1),福山市保健所(1),西部保健所(2)], O121(1)[広島市保健所]
四類	5	日本紅斑熱(5)[東部保健所]
五類全数	19	麻しん(12)[広島市保健所(1),西部保健所(10),東部保健所(1)],急性脳炎(3)[広島市保健所,西部東保健所,北部保健所],後天性免疫不全症候群(2)[広島市保健所],ウイルス性肝炎(C型)(1)[福山市保健所],梅毒(1)[呉市保健所]

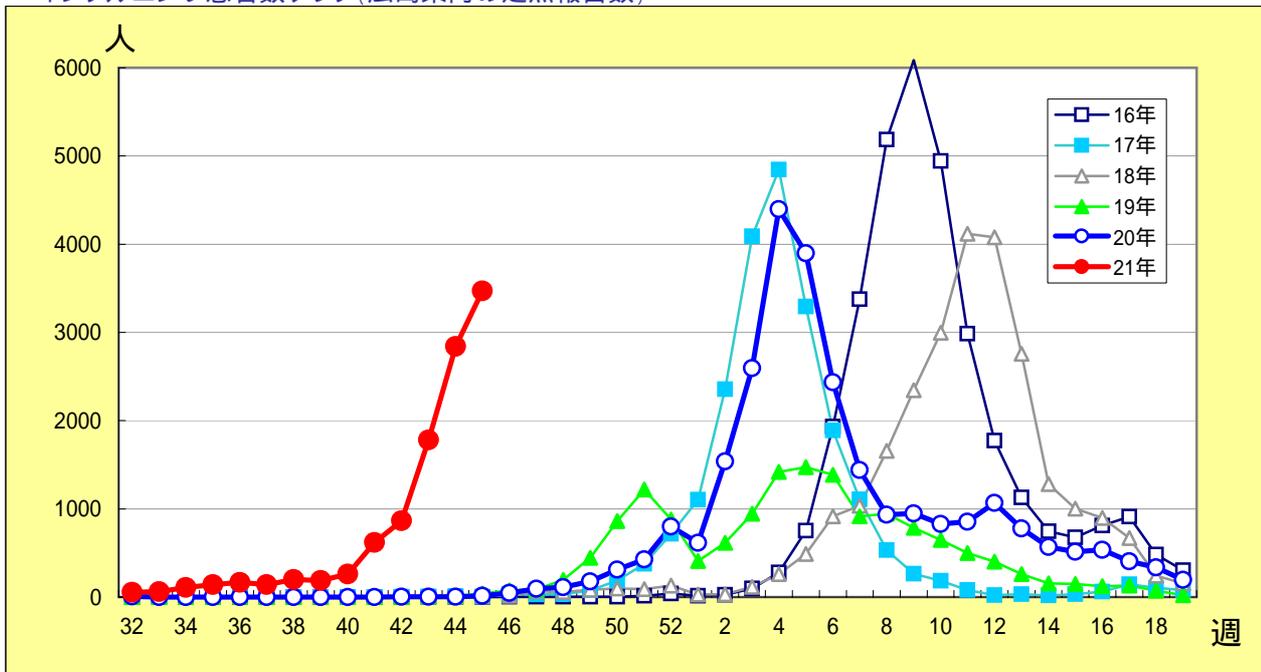
3 一般情報

インフルエンザ警報の発令について

平成21年44週(10月26日から11月1日)の定点医療機関(114医療機関)からのインフルエンザ患者報告数が、広島市保健所管内(広島市)及び西部東保健所管内(東広島市,竹原市,大崎上島町)で国立感染症情報センターが示している警報の基準(定点当たり30)を超えました。

このため,11月4日,県内全域にインフルエンザ警報を発令しました。

インフルエンザ患者数グラフ(広島県内の定点報告数)



インフルエンザを予防するために次のような注意が必要です

- ・外出から帰ったときなどには,すぐに流水と石けんで手を洗い,うがいをしましょう。
- ・睡眠をしっかりと,偏食せずバランスの取れた食事をし,体力をつけましょう。
- ・咳エチケット(咳・くしゃみ際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ,周りの人から顔をそむけ,使用後のティッシュは,すぐにふた付きのごみ箱に捨てる。また,症状のある人は,マスクを正しく着用し,感染防止に努める。)を守りましょう。
- ・なるべく人が集まる場所への外出は避けましょう。
- ・症状などからインフルエンザが疑われる場合は,早めに医療機関を受診しましょう。特に基礎疾患(腎臓疾患,心臓疾患,呼吸器疾患等)を有する方や,妊婦,高齢者,乳幼児は合併症を起こしたり,重症化する恐れがありますので注意しましょう。
- ・緊急の場合を除き,夜間・休日の医療機関への受診はできるだけ控え,平日の昼間に受診しましょう。また,受診する場合は,あらかじめ医療機関に電話し,受診方法を確認してください。また,受診の際にはマスクを着用してください。